

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校	名前	作品	得点	審査講評
1	箕面自	片島	4	343	よく通る声。コントロール精度を上げたい。雰囲気重視？大事な言葉の抜き出しを。”はい”の意味、文体の理解を深めよう(内容を掘り下げる)。緩急(メリハリ)をつけるともっと良くなる。話すように(文字を追って読んでいる)。会話の読みに工夫を。意味に合った息遣いをしよう。サ行の練習を(質問、承知)。読み飛ばしに注意。早く聞き取りにくい部分あり。音の幅をもう少し使うとよい。情景が浮かびにくい。うねりあり。
2	被昇天	猪口	4	入選	朗読つばさや上手らしさを求めている(演劇調)。発音発声はよくトレーニングされている。抜粋箇所は良いが長いせいか急いだのがもったいない。会話と地の文に差がある(地の文聞き取れない)。緩急は良い。少しマイクに近い。良い声だが、少し癖があるのが気になる。
3	四天	國井	2	347	番号の発声で無意味に雰囲気を作りすぎている。読むのに一生懸命にならないように。ただし、登場人物の空気づくりは上手。自分の得意な声だけを使うと単調になってしまう。地の文をもっと淡々と読むとよい。音が少し安定しない。うねる。文末が消えかかるときの気がなる(はやしライス)。サ行の練習をしましょう。抽出場所は良い。スピードコントロールの努力は感じられる。内容にあった表現ができています。”コルコルウリウリ”のところをどう読むかももう少し検討した方がよい。
4	市立南	乾	3	348	よく聞こえてくる発声。多少滑舌甘い？若者らしさはある。読みときをより厳密にすると間が変わるはず。間を工夫するともっとよくなります。会話文上手。ヘッドボイス強い。サ行注意。基本的な技術がよく身につけている。
5	北野	磯島	3	336	自分が読めるペースが聞き手にとって最良なペースではない。意味の塊をもう一度確認して。素質は感じます。少しマイクに近い。拍が短い。発音甘い。アクセントと鼻濁音など基本的な練習をしよう。地の文にうねりが残っている。高低をつけるなど工夫を。情景が浮かびあがりにくかったので、もう少し情景を考えて読むとよい。
6	プール	本間	2	331	よく話は伝わってきた。発音発声滑舌を鍛えて。タ行サ行ラ行に注意。聞き手に考える間を与えてください。アクセント注意。間とテンポに気を付けるともっとよくなる。高音で不自然に聞こえる音あり。うねりあり。
7	近大附	茂泉	3	328	セリフの読みが得意なようだが、単調にならないように地の文との区別をしっかりとつけるなど、さらに工夫をしよう。発音をさらに明瞭に。メリハリをつけること。全体的に平板なのでキーワードを立てること。声の低さと暗さの違いに注意。
8	四天	北村	3	4位	良く通る声。そればかり使わないで。単調にならないように。面白味をどのくらい表現できる？間の工夫も。語尾が少し消える。会話上手。緩急をつけるともっとよくなります。課題は上手です。「」内の表現に工夫を。情景が少し浮かぶ。表現に努力がみられる。「いたぞ」の「た」など細かい部分も丁寧に発音したほうが良い。
9	被昇天	樽谷	4	341	読むペースや間が文章による要求ではなく読み手によるものになっている。まして聞き手のペースではない。セリフの雰囲気は良い。マイクに少し近く、こもっている。淡々と読んでいる。速い。地の文とセリフの区別がよい。
10	東大谷	柳川	4	入選	セリフに頼りすぎないで。芝居がかった読みを抑えて、朗読の基礎を大切にしよう。マイクに近い。言葉が立っている。滑舌の甘いところがある。自分の原稿と課題原稿を同じ調子で読んでいるが内容が違うので、考えた方がよい。
11	四天	東山	3	336	良い声なのでもっとフィジカルを鍛えて欲しい。間の取り方は良い。苦手なラ行を克服し、基礎に自信をつけ練習を重ねよう。緩急をつけること。意味の塊をつかむこと。滑舌の練習を。自分の原稿で最後の部分の読み方に工夫が欲しい。地の文がやや単調。
12	被昇天	横内	1	350	抽出箇所が難しい(読点が多い)。一生懸命になると、文の波にのまれて無意味なテンポと波うちがでる。こういう文では自分の体の反応を抑える訓練が必要。間と緩急をもっと工夫するとよくなります。キーワードを立てること。自然な息遣いで読めている。無声化に気を付けよう。最後の文の表現に注意。
13	市立南	小西	1	入選	ステキな声です。ただし、自分の読みやすい読みは聞き手に聞きやすい読みとは限らない。イントネーションに注意。音域を広げるともっと表現がよくなる。キーワードを立てるともっとよくなります。語尾が消えそうになるのが気になる。間の取り方が単調。鼻にかかったような発音が強く出ている。立て直しがうまい。
14	みどり	神田	1	341	いい声。しかし、自分の得意な声だけを使わないで。語尾の母音が伸びる癖。フィジカルも含めて、まだまだ鍛えられます。少しマイクに近い。抜粋箇所がよい。イントネーションに注意。意味の塊をつかむこと。内容にあった息遣いを。音の幅が低音で狭くすれている。感情が伝わってきた。
15	四天	瀧	2	352	歌ってはいけない。読むから話すに向かっていってください。内容が入ってくる朗読は魅力的に聞こえるものです。地の文をもっと淡々と。声の明るさは良いが音域を広げるともっとよくなる。サ行甘い。助詞は短く切る。場面をとらえた読みをできている。「上げて」の「て」などタ行をはっきりと。
16	帝塚山	木野	5	5位	雰囲気を作るのが上手。しかし、それに頼りすぎると本来の内容を伝わりにくくなるので注意。課題は上手です。マイクに少し近い。拍が短いところがあるので音階が飛ぶ。イントネーションに注意。情景が浮かぶ。緩急・無声化に注意。表現工夫あり。地の文・セリフの区別ができるとわかりやすい。演劇調でポンポンとした話し方に聞こえる。

第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校	名前	作品	得点	審査講評
17	四天	中村	3	入選	ゆっくりなのは良い。ただ、ペースが単調になるとそれを生かし切れない。読み下しの次のステップへ。平板。緩急をつけるともっとよくなる。さらに、もっと話すようにするとよくなります。キーワードを立てること。最後の文の表現に注意。並列など文の構造を理解した読みをできている。
18	浪速	三浦	3	1位	声が魅力的で良く出ている。単調にならないよう注意。文章の欲求に忠実に。雰囲気を作ることを優先しないで。課題はもう少し練習が必要だったか。緩急良い。表現力がある。間が良い。内容を良くつかんでいる。「土間」の「間」や「渋」の「ぶ」など次の音が落ちる。上手なので細かい基本的なことをできるともっと良くなるので、アクセント辞典を引くこと。地の文・セリフ、間、表現（自然）に工夫あり。言葉が立っている。
19	みどり	谷本	3	352	語尾の抜けが度重なりと気になります。止めるところは止める雰囲気優先ではなく文章の要求に忠実に。安定した良い声です。平板。もっと変化をつけるとよい。キーワードを立てること。間の取り方に工夫を。文末をしっかり落とすこと。場面をおさえた読みができている。
20	四天	蓑島	3	329	自分の読めるように読むのではなく、文が読んでほしいように読む。セリフは空気感がある。まだまだ練習でレベルアップできます。語尾が消えるところがある。キーワードを立てること。はっきりした良い声なのに、不安定な息遣いが惜しい。速くなるところがある。文末にうねり、伸びあり。
21	女子短	竹中	3	337	マイクに乗る良い声。ただ、ありがちな朗読っぽさに流されると魅力を生かせない。よく本を読んで文章の要求に従って。会話は上手なので地の文を明瞭に。イントネーション・アクセントに注意。地の文の語尾が歌うようになるのが気になる。勝手に書き足してはいけない(原稿ミス)。
22	市立南	工岡	3	2位	声は良いので、もっと作っていない自然な部分を使えばさらに良くなる。間の使い方が上手。意味のかたまりで読んでいる。会話上手。課題はもう少し工夫を。情景が浮かぶが、情景描写の多い抽出箇所なので、もう少し読み方に工夫があるとよい。安定して聞いてやすい。丁寧に読んでいる。言葉を立てる努力が見える。
23	東大谷	尾崎	2	328	自分の好きな声だけ使ってはいけない。もっと力のある声が出るはず。朗読っぽいから脱出してください。発音が少し甘い。音域を広げると表現が豊かになる。意味をよく考えて読もう。うねった読み方で情景が浮かびにくい。言葉を立てて工夫している。文末をしっかり落とす。
24	成美	山崎	2	316	意味があって声ができる。伝えたいと思った時に、出る声を大事にして。内容が大事なので、表現はその次。イントネーションに注意。読みうねる。声はマイクによく乗っている。内容をしっかりとつかむこと。抽出箇所は良い。表現が意味を伝えるのに、合っていないところが多く、もったいない。母音がかくつかくところがある。中膨らみする傾向がある。
25	被昇天	梶山	4	入選	魅力的な声です。出足の不調を取り戻した。語尾が綺麗。基礎を鍛えよう。まだまだレベルアップできます。緩急良い。抜粋箇所良い。会話と地の文の差が出ている。ナンバーコールのアクセントがおかしい。感情の変化をセリフの表現工夫している。イントネーションに波がある。
26	四天	斉藤	3	335	フィジカルをもう少し鍛えられる。単調から抜け出すために。作者名、作品名が読めていない。聞き手にもっと発信してください。一部単語が不明瞭。無声化をしっかりと。滑舌に注意。
27	市立南	村上	3	6位	落ち着いた声。くぐもらせないようにするとより良い(発声・発音の練習を)。音の幅をもう少し広げられるとより良い。単調にならないよう注意。内容は伝わってくる。抽出箇所良い。もっと淡々と読むともっと良くなる。キーワードを立てると良い。安定した良い読み。
28	梅花	桐間	1	340	よく読めています。その次のステップへ。平板。伝えたいという気持ちを出して、もっと内容をつかんで緩急をつけること。間が同じ。メリハリをつけること。単調。うねりあり。息継ぎと意味の切れ目の取り方に工夫を。基礎はできている。
29	近大附	根本	3	338	内容を伝えることにすべてを集中すると、何か変わるかも。文章の要求に従って読んでください。会話と地の文をもう少し差をつけよう。間とテンポに注意。キーワードを立てること。声は良い。語尾の処理も良い。セリフの方言につられて、地の文もうねる。声の高低をうまく使うと表現には幅が出る。
30	帝塚山	森口	2	3位	声が良いのでそれに頼りすぎないで。同じところばかり使うと単調に聞こえるので注意。会話と地の文に差が付いている。「」内の表現に工夫を。もう少しキーワードを立てるとよい。間が不自然。表現に工夫がみられる。情景が浮かぶ。
31	四天	浜田	3	353	中身がよく伝わります。単調に陥らないように、もっと伝えられることがあるはず。マイクから少し遠く、こもる。地の文の意味を掘り下げて。音域を広げると、表現がよくなります。語尾が消えかかるところがある。スピードが単調で少しうねりが残る。文末が弱くなるところがある。
32	旭	近澤	2	入選	読むことに一生懸命になると逆に伝わらなくなります。聞きやすい。会話と地の文に差がある。少しマイクに近い。抽出箇所良い。ラ行に注意。うねりあり。テンポに注意。